

## 北海道博物館 ～愛称決定～

367点の応募作品の中から、選考委員会の審議により最優秀作品を選考し、愛称を決定。

1 愛称 『森のちれんが』 ※最優秀作品

2 考案者 池田伶奈（いけだ れな）さん（札幌市、16歳）

【命名理由】野幌の森の緑に囲まれて、茶色いレンガが美しく印象的な博物館。北海道の豊かな未来づくりにむけてチャレンジする道民のよりどころとなる博物館。道庁赤れんがとセットで、北海道博物館を世界に発信。

（選考理由）

- ・道庁の赤れんがと対比させつつ、緑豊かな野幌森林公園に位置するレンガ造りの博物館をわかりやすく表現した独創的な愛称であること。
- ・「チャレンジ」とかけた表現は外国人にもなじみやすく、また新しく生まれ変わりチャレンジしていく博物館というイメージを喚起させること。
- ・子供から大人まで親しみやすく、覚えやすく、発音しやすい愛称であること。

3 入選作品（優秀作品）

『ほっぱく』吉田史江さん（札幌市、35歳）

『道博』奥田柚香さん（札幌市、17歳）

『北のミュージアム』松本昌恵さん（苫小牧市、59歳）

※同一作品が複数あるものは抽選により決定しました。

4 応募状況

（1）募集期間 平成26年11月1日～12月12日（42日間）

（2）応募作品数 367点（応募者年齢 2歳～87歳）

5 「愛称・ロゴ」選考委員会（5名 ※◎委員長、○副委員長）

◎竹垣吉彦（たけがき よしひこ） イオン北海道(株) 取締役 総合企画本部長

○武田亘明（たけだ のぶあき） 札幌市立大学デザイン学部准教授

石川圭子（いしかわ けいこ） 北海道開拓記念館ミュージアムメイト

津田命子（つだ のぶこ） 北海道立アイヌ総合センター学芸員

石森秀三（いしもり しゅうぞう） 北海道開拓記念館館長